

作成日2026年5月12日

受付番号： I2026-061

課題名：キルギス共和国における社会経済的要因および行動要因と健康転帰との関係：キルギス生活調査（LiK）の公開縦断調査データを用いた疫学研究

1. 研究の対象

Life in Kyrgyzstan (LiK) 調査に参加し、公開データセットに収録されたキルギス共和国在住の個人及び世帯

2. 研究期間

（研究実施許可日）～2030年3月31日

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

当院で試料・情報の利用を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始予定日： 2026年6月1日（研究実施許可日）

4. 研究目的

キルギス共和国内における健康格差、医療アクセス、主観的健康状態、小児健康、救急受診、慢性疾患、健康関連行動、社会的ネットワークと健康との関連等を検討する。

5. 研究方法

キルギス生活調査の公開データセットを利用し、健康転帰を目的変数とし、社会経済的要因、行動要因、家庭環境要因及び社会的環境要因を説明変数として設定する。必要に応じて、年齢、性別、地域、世帯構成等の交絡因子を調整し、多変量回帰分析、縦断データ解析、階層モデル、感度分析等の疫学的手法を用いて関連を検討する。

6. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：健康転帰（血圧、脳血管疾患、心疾患、糖尿病、メンタルヘルスなど）、社会経済的要因、行動要因、家庭環境要因及び社会的環境要因を説明変数として設定する。必要に応じて、年齢、性別、地域、世帯構成など

試料：なし

7. 外部への試料・情報の提供

該当なし

8. 研究組織

本学単独研究

9. 利益相反（企業等との利害関係）について

利益相反とは、研究者が企業など、自分の所属する機関以外から研究資金等を提供してもらうことによって、研究結果が特定の企業にとって都合のよいものになっているのではないか・研究結果の公表が公正に行われないのではないかなどの疑問が第三者から見て生じかねない状態のことを指します。本研究は地球環境医学分野の運営費を用いて行われます。また研究を実施するにあたり特定企業との利害関係はありません。本研究の実施にあたっては、本学利益相反マネジメント委員会に対して研究者の利益相反状況に関する申告を行い、同委員会による確認を受けています。この研究の結果により特許権等が生じた場合は、その帰属先は研究機関及び研究者等になります。あなたには帰属しません。

10. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

当院における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

担当者の所属・氏名：

東京科学大学 公衆衛生学分野 プロジェクト助教 前田裕斗

東京科学大学 地球環境医学分野 大学院生 Aiperi Asanbek kyzy

連絡先：東京科学大学 地球環境医学分野

03-5803-4592（ダイヤル）（対応可能時間帯：平日 9:00～17:00）

maedhlth@tmd.ac.jp

当院の研究責任者：東京科学大学 公衆衛生学分野 プロジェクト助教 前田裕斗

11. 苦情窓口

東京科学大学 研究推進部研究基盤推進課 生命倫理グループ

03-5803-4547（対応可能時間帯：平日9:00～17:00）